



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第三三六号〕

大雪たいせつ

十二月七日

食料がワクチン

いろいろあった今年も最後の月、師走十二月を迎えました。

一年を振り返ると、やはり新型コロナウイルス感染拡大で、日々の暮らしから仕事まで多くの変化がありました。そのなかで、「食」に対する意識も大きく変わりました。

今年のノーベル平和賞が、「世界食糧計画(WFP)」が受賞したのも、食への危機感が背景にあったのかもしれませんが。「世界食糧計画」は、ローマに本部を置き、1961年に設立された食糧などの人道支援を目的に創設された国連の機関です。

ノーベル平和賞を受賞した「世界食糧計画」の声明で注目した点がありました。新型コロナウイルスの感染拡大によって、飢餓に苦しむ人が世界中で急増していると指摘し、「ワクチンができる日まで、食料こそが混沌こんとんに立ち向かう最もいいワクチン」というのです。今、世界中で新型コロナウイルスを予防するワクチンの開発にしのぎを削っています。食料が「食料がワクチン」という考えになるほどと思いました。免疫力や健康維持は食から得られるものでもあります。

私たちはソーシャルディスタンスによる感染対策で、人々と一緒に食事をする会食の機会が失われつつあります。気の合った仲間との打ち上げやお祭りの直会なおらい、忘年会など、ずいぶん減りました。人と会食することで、励まされたり、励ましたり、ビタミン剤のような効用は、失ってから改めて気づかされました。

しばらくは、食事のビタミン剤は難しいですが、食をワクチン代わりにして、withコロナの時代を乗り越えられればと思っています。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 歳の市

新年の「明けましておめでとうございます」という言葉は、年が明け、歳神(としがみ)様を迎える際の祝福の言葉でした。つまり、お正月は家に歳神様を迎えお祝いする行事です。

歳神とは1年の始まりにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らせる約束をしてくれる神様です。正月に門松やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から喜んで迎えるための準備です。

おかげ横丁では、昔ながらの風習に触れる、お正月の支度「歳の市」を開催いたします。家族揃って、お正月の準備をしてみませんか。

日時／令和2年12月12日(土)～12月28日(月) 10:00～17:00

場所／おかげ横丁一帯

※雨天および諸事情にて、中止または内容が一部変更になる場合がございます。
※例年開催しております「しめ縄作り体験」「しめ縄リース作り体験」「家族餅つき体験」は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今回は中止とさせていただきます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

● もち花作り体験

お正月飾りには欠かすことができないもち花。今年も豊作であるようにという願いが込められています。かつては、花の咲かない真冬に彩り添えるささやかなアイテムでした。白餅と黄色味を帯びた栗餅を使い、金銀に見立てた伊勢地方独特のもち花を作ってみましょう。

日時／12月23日(水)～25日(金) 11:00～16:00

場所／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

● ミニ門松づくり体験

門松は、今では正月の飾りもののように思われていますが、もとはといえば歳神の依代(よりしろ)といわれ、神霊が下界に降りてくる時の目標物と考えられていました。現在では住宅事情などで、家々の門前に立てるのは難しくなっていますが、机の上や玄関口に置ける小さな門松を飾ってお正月を迎えましょう。

日時／12月19日(土)～25日(金) 10:00～16:00

場所／おかげ横丁特設屋台

● お正月のお飾り市

縁起よく新年を迎えていただくための、しめ縄や松竹梅の鉢植え、ミニ門松などのお飾りが並びます。

日時／12月12日(土)～28日(月) 10:00～17:00

場所／おかげ横丁「特設屋台」

五十鈴塾

○ 「伊勢西国三十三所～もう一つのお伊勢参り～」

伊勢参りは江戸時代の庶民にとって一生をかけての願望でしたが、実は信心を口実に日本中を旅することが目的だったのです。

お参りを終えると西の人たちは江戸までも足をのばし、東からの旅人は京、大阪、四国、宮島など1ヶ月以上もかけて回りました。

一番の人気は西国三十三所巡礼、近畿地方と岐阜の三十三の観音霊場を巡って極楽往生を願いました。そこまで金銭的、日程的に余裕がない人々にとって人気があったのが伊勢西国三十三所です。

明治時代以前の日本は神仏習合、神も仏も同じように崇敬の対象だったのです。

2回目の今回は、伊勢市内から、かつて神宮領で、御厨などがあった「神三郡」である多気町へ。

そこでも、伊勢神宮との関わりのある信仰や物を見つけました。

とき／12月18日(金) 13:30～15:00

講師／千種 清美(文筆家・皇學館大学非常勤講師)

参加費／一般1,350円 会員850円

集合場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

ゆず
柚子

柚子の果皮を搾りおろし、村雨に仕立てました。大器晩成、ようやく実をつけた柚子の香りを、彩りも爽やかに楽しんでください。

ほがき
干し柿

伊勢路の家々の軒下に揺れる、大小とりどりの吊るし柿を想いつつ、柿餡を餅生地で包み、冬ならではの風物詩を模りました。

ふゆ
冬なごみ

粒餡を包んだ二色のきんとんに羊羹の赤い実をのせました。吹く風は冷たくとも、しばし心を和ませるような、冬物語の情景です。